

看護学研究科博士前期課程 履修モデル:看護教育・看護管理学分野

科目区分	履修科目	配当年次	単位数		履修モデル科目		履修要件	
			必修	選択	社会人学生	ストレートマスター生		
共通科目	看護理論特論	1前	2		2	2	必修10単位	
	看護倫理特論	1前	2		2	2		
	看護研究方法論	1前	2		2	2		
	看護教育論	1前	2		2	2		
	英書講読	1前	2		2	2		
	小計(5科目)	—	10	0	10	10		
専門基礎科目	援助的關係論	1前		2	2		選択6単位以上	
	アドバンスヘルスアセスメント論	1後		2		2		
	ケアシステム論	1後		2				
	看護マネジメント論	1後		2	2	2		
	災害看護特論	1後		2				
	家族看護学特論	1後		2	2	2		
小計(6科目)	—	0	12	6	6			
専門科目	看護管理教育分野	看護教育・看護管理学特論	1前		2	2	2	選択する分野の特論2単位、演習4単位、特別研究8単位、選択分野以外の特論2単位の合計16単位以上
		看護教育・看護管理学演習	1後		4	4	4	
		看護教育・看護管理学特別研究	2通		8	8	8	
	成人・高齢者看護学分野	成人・高齢者看護学特論	1前		2		2	
		成人・高齢者看護学演習	1後		4			
		成人・高齢者看護学特別研究	2通		8			
	障害児・者支援分野	障害児・者支援特論	1前		2			
		障害児・者支援演習	1後		4			
		障害児・者支援特別研究	2通		8			
	地域看護学分野	地域看護学特論	1前		2	2		
		地域看護学演習	1後		4			
		地域看護学特別研究	2通		8			
小計(12科目)	—	0	56	16	16			
合計(23科目)		—	10	68	32	32		
学位又は称号		修士(看護学)						
計	32単位							
履修科目に関し配慮する点	看護教育・看護管理学分野の質の高い看護実践者となるために、共通科目に加え、選択科目である専門基礎科目から、社会人学生、ストレートマスター生ともに、「家族看護学論」2単位を履修し、家族に対する理解と支援の考え方を学修する。また、「看護マネジメント論」2単位を学修する。加えて、社会人学生は、「援助的關係論」2単位で人間関係におけるスキルや新しい視点の開発を探究し、リーダーシップにおける人間関係を形成する力を発展させる。よって、計3科目6単位を履修する。ストレートマスター生は、「アドバンスヘルスアセスメント論」2単位で看護課題に対する理論的思考を発展させる。よって、計3科目6単位を履修する。他の専門分野の特論としては、社会人学生は、「地域看護学特論」2単位を履修することで、地域看護学の基本的知識を学修する。ストレートマスター生は、「成人・高齢者看護学特論」2単位を履修することで、成人・高齢者の健康課題と支援のあり方を考察する。							

看護学研究科博士前期課程履修モデル:成人・高齢者看護学分野

科目区分	履修科目	配当年次	単位数		履修モデル科目		履修要件	
			必修	選択	社会人 入学生	ストレート マスター生		
共通科目	看護理論特論	1前	2		2	2	必修10単位	
	看護倫理特論	1前	2		2	2		
	看護研究方法論	1前	2		2	2		
	看護教育論	1前	2		2	2		
	英書講読	1前	2		2	2		
	小計(5科目)	—	10	0	10	10		
専門基礎科目	援助的關係論	1前		2			選択6単位以上	
	アドバンスヘルスアセスメント論	1後		2		2		
	ケアシステム論	1後		2	2	2		
	看護マネジメント論	1後		2	2			
	災害看護特論	1後		2				
	家族看護学特論	1後		2	2	2		
小計(6科目)	—	0	12	6	6			
専門科目	看護管理教育・ 看護管理学分野	看護教育・看護管理学特論	1前		2	2	選択する分野の特論2単位、演習4単位、特別研究8単位、選択分野以外の特論2単位の合計16単位以上	
		看護教育・看護管理学演習	1後		4			
		看護教育・看護管理学特別研究	2通		8			
	成人・高齢者 看護学分野	成人・高齢者看護学特論	1前		2	2		2
		成人・高齢者看護学演習	1後		4	4		4
		成人・高齢者看護学特別研究	2通		8	8		8
	障害児・者 支援分野	障害児・者支援特論	1前		2			
		障害児・者支援演習	1後		4			
		障害児・者支援特別研究	2通		8			
	地域看護学 分野	地域看護学特論	1前		2			2
		地域看護学演習	1後		4			
		地域看護学特別研究	2通		8			
小計(12科目)	—	0	56	16	16			
合計(23科目)		—	10	68	32	32		
学位又は称号		修士(看護学)						
計	32単位							
履修科目に関し配慮する点	成人・高齢者看護学分野の質の高い看護実践者となるために、共通科目10単位に加え、社会人学生、ストレートマスター生ともに選択科目である専門基礎科目から「家族看護学論」2単位を履修し、家族に対する理解と支援の考え方を学修する。また、成人及び高齢者とその家族の健康問題・課題を解決するためのマネジメント能力、ケアシステムを構築する力をつけるために「ケアシステム論」2単位を学修する。加えて、社会人学生は、「看護マネジメント論」を学修する。よって、計3科目6単位を履修する。ストレートマスター生は、「アドバンスヘルスアセスメント論」で看護課題に対する理論的思考を発展させる。よって、計3科目6単位を履修する。他の専門分野の特論としては、社会人学生は、「看護教育・看護管理学特論」2単位を履修することで、教育や管理に関する応用的な知識を学修する。ストレートマスター生は、「地域看護学特論」2単位を履修することで、地域看護学の基本的知識を身につける。							

看護学研究科博士前期課程履修モデル: 地域看護学分野

科目区分	履修科目	配当年次	単位数		履修モデル科目		履修要件	
			必修	選択	社会人 入学生	ストレート マスター生		
共通科目	看護理論特論	1前	2		2	2	必修10単位	
	看護倫理特論	1前	2		2	2		
	看護研究方法論	1前	2		2	2		
	看護教育論	1前	2		2	2		
	英書講読	1前	2		2	2		
	小計(5科目)	—	10	0	10	10		
専門基礎科目	援助的関係論	1前		2			選択6単位以上	
	アドバンスヘルスアセスメント論	1後		2		2		
	ケアシステム論	1後		2	2	2		
	看護マネジメント論	1後		2	2			
	災害看護特論	1後		2				
	家族看護学特論	1後		2	2	2		
小計(6科目)	—	0	12	6	6			
専門科目	看護教育・看護管理学分野	看護教育・看護管理学特論	1前		2	2	選択する分野の特論2単位、演習4単位、特別研究8単位、選択分野以外の特論2単位の合計16単位以上	
		看護教育・看護管理学演習	1後		4			
		看護教育・看護管理学特別研究	2通		8			
	成人・高齢者看護学分野	成人・高齢者看護学特論	1前		2			
		成人・高齢者看護学演習	1後		4			
		成人・高齢者看護学特別研究	2通		8			
	障害児・者支援分野	障害児・者支援特論	1前		2			2
		障害児・者支援演習	1後		4			
		障害児・者支援特別研究	2通		8			
	地域看護学分野	地域看護学特論	1前		2	2		2
		地域看護学演習	1後		4	4		4
		地域看護学特別研究	2通		8	8		8
小計(12科目)	—	0	56	16	16			
合計(23科目)		—	10	68	32	32		
学位又は称号		修士(看護学)						
計	32単位							
履修科目に関し配慮する点	<p>地域看護学分野の質の高い看護実践者となるために、共通科目に加えて、選択科目である専門基礎科目から、社会人学生は、「援助的関係論」2単位、「ケアシステム論」2単位の履修で、それぞれの新しい知見を得る。さらに、「看護マネジメント論」2単位の計3科目6単位を学修する。ストレートマスター生は、援助活動の経験が浅いことが考えられるので「援助的関係論」2単位と「ケアシステム論」2単位を選択し、「アドバンスヘルスアセスメント論」2単位で看護課題に対する理論的思考を発展させる。よって、計3科目6単位を履修する。他の専門分野の特論としては、社会人学生は、「看護教育・看護管理学特論」2単位を履修することで、教育や管理に関する応用的な知識を学修する。ストレートマスター生は「障害児・者支援特論」2単位を履修することで、自らの障害観や支援観について考察を深め、困難な状況で生活する人々や家族に対する支援のあり方を考察する。</p>							

看護学研究科博士前期課程履修モデル:障害児・者支援分野

科目区分	履修科目	配当年次	単位数		履修モデル科目		履修要件	
			必修	選択	社会人 入学生	ストレート マスター生		
共通科目	看護理論特論	1前	2		2	2	必修10単位	
	看護倫理特論	1前	2		2	2		
	看護研究方法論	1前	2		2	2		
	看護教育論	1前	2		2	2		
	英書講読	1前	2		2	2		
	小計(5科目)	—	10	0	10	10		
専門基礎科目	援助的關係論	1前		2	2		選択6単位以上	
	アドバンストヘルスアセスメント論	1後		2		2		
	ケアシステム論	1後		2	2	2		
	看護マネジメント論	1後		2				
	災害看護特論	1後		2				
	家族看護学特論	1後		2	2	2		
小計(6科目)	—	0	12	6	6			
専門科目	看護管理教育・分野	看護教育・看護管理学特論	1前		2		選択する分野の特論2単位、演習4単位、特別研究8単位、選択分野以外の特論2単位の合計16単位以上	
		看護教育・看護管理学演習	1後		4			
		看護教育・看護管理学特別研究	2通		8			
	成人・高齢者看護学分野	成人・高齢者看護学特論	1前		2			
		成人・高齢者看護学演習	1後		4			
		成人・高齢者看護学特別研究	2通		8			
	障害児・者支援分野	障害児・者支援特論	1前		2	2		2
		障害児・者支援演習	1後		4	4		4
		障害児・者支援特別研究	2通		8	8		8
	地域看護学分野	地域看護学特論	1前		2	2		2
		地域看護学演習	1後		4			
		地域看護学特別研究	2通		8			
小計(12科目)	—	0	56	16	16			
合計(23科目)		—	10	68	32	32		
学位又は称号		修士(看護学)						
計	32単位							
履修科目に関し配慮する点	<p>障害児・者支援分野の質の高い看護実践者となるために、共通科目に加えて、選択科目である専門基礎科目から、社会人学生、ストレートマスター生ともに、「家族看護学特論」2単位を履修し、家族に対する理解と支援の考え方を学修する。また、障害児・者とその家族が地域で生活する上で生じる健康問題・課題を解決するためのマネジメント能力、ケアシステムを構築する力をつけるために「ケアシステム論」2単位を学修する。加えて、社会人学生は、「援助的關係論」で人間関係におけるスキルや新しい視点の開発を探究し、リーダーシップにおける人間関係を形成する力を発展させる。よって、計3科目6単位を履修する。ストレートマスター生は、「アドバンストヘルスアセスメント論」で看護課題に対する理論的思考を発展させる。よって、計3科目6単位を履修する。他の専門分野の特論としては、社会人学生、ストレートマスター生ともに、「地域看護学特論」2単位を履修することで、地域看護学の基本的知識を身につける。</p>							